

# 「広島大学生のための情報探 索ガイド」完成までの道のり



広島大学図書館  
学術情報普及グループ  
情報ナビゲーション主担当

江森 早穂

# I. 簡単な自己紹介

---

- 司書歴28年  
(専門図書館17年, 大学図書館11年)
- 18年間:レファレンス専門  
5年間:レファレンス + リテラシー教育
- 今年4月よりリテラシー教育を専門に担当

## Ⅱ. 広島大学図書館が実施している講習会, オリエンテーション, ガイダンス等 1

---

① 新入生オリエンテーション行事「図書館ガイダンス」

② 留学生向け「図書館オリエンテーション」

4月, 10月 各2回実施

③ 大学院生(他大学から入学)および新任教員向け「図書館オリエンテーション」

4月に4回

④ 教養ゼミ「図書館利用案内」

4月中旬から5月中旬, 30回程度

⑤ データベース定期講習会

6月~7月, 10月~12月 合計約25回

## Ⅱ. 広島大学図書館が実施している講習会, オリエンテーション, ガイダンス等 2

---

### ⑥ データベース利用説明会

業者により、年2～3回程度

### ⑦ オンデマンド講習会

### ⑧ 一般利用者・フレンドリー利用者向「図書館利用案内」

### ⑨ 職員のためのデータベース講習会

業者により、年1～2回程度

### ⑩ その他 現在情報メディアセンターの「情報活用基礎」の 授業を受け持つ計画があり、今年度はテストケースとして、 1回実施

## Ⅲ.「広島大学生のための情報探索ガイド」

### ●テキスト作成以前

講習会毎に1～2枚程度の資料を作成・利用

#### ○統一した、分かり易いテキストの必要性

- ・④⑤⑦ 講習会実施の際のテキスト
- ・カウンターでの対応の際の指針
- ・「自立した利用者」の育成 ← サービス要員の定員削減

#### ○人的、経済的裏づけの欠如 ⇒ 実現しなかった

平成18年度の新規事業として予算要求したが不採用

⇒ **リテラシーテキストの必要性は高いとして、費用は平成18年度運営費交付金より捻出**

## ●テキスト作成決定

---

○5月18日 平成17年度第1回情報リテラシー委員会にてテキスト作成決定。テキスト作成班メンバー6名決定

【資料1】平成17年度第1回情報リテラシー委員会議事録参照

## ●テキスト作成の基本方針

---

- 1.図書館の利用方法を具体的に説明し，カウンターでの説明の代わりとなる内容を盛り込み記述する
- 2.利用者が情報探索する目的別の構成とする
- 3.OPACや雑誌記事索引等の基本的ツールを説明する講習会用テキストとして活用できるようにする
- 4.電子ジャーナル等の専門性の高い資料については，概要のみ説明するにとどめる
- 5.図や事例を提示し，分かり易い内容とする

## ●作成スケジュール

H17

H18

4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3 4月



準備



執筆



修正・加筆



## ●作成過程 1

○5月20日【資料2】「情報リテラシー教育のためのテキストの作成にあたって」をまとめ、テキスト作成班メンバーの意見をもとめる(6/3まで)

○7月6日【資料3-1】「リテラシーテキスト構成案」を作成。構成の大枠についてメンバーの意見をもとめる。なお構成案作成にあたっては他大学リテラシーテキストなどを参考【資料3-3】【資料3-4】【資料3-5】【資料3-6】

今後の作業としては、構成案の改定、執筆にあたっての共通理解事項の整理、執筆分担

## ●作成過程 2

---

- 8月12日【資料4】「情報リテラシー・テキスト執筆にあたっての留意事項（案）」作成
- 9月1日【資料5】「リテラシーテキスト構成案（分担案）」作成
- 9月7日 リテラシーテキスト作成班打ち合わせ、上記2案（【資料4】【資料5】）を検討

## ●作成過程 3

---

○9月13日第2回情報リテラシー委員会（テキスト作成班）8/12作成案に具体的日程，原稿スタイルなど加えた形で，委員全員に了承を得る

【資料6】「情報リテラシー・テキスト執筆にあ  
たっ

ての留意事項」

【資料7】「H17第2回情報リテラシー委員会議事  
録」

○10月27日段階でのスケジュール 入稿2/20，  
二校3/2，三校3/16，納品3/31

## ●作成過程 4

---

○12月22日原稿締め切り。全員原稿出揃う。  
(以後原稿修正・加筆は鈴木，江森で行う)

○12月22日～1月16日

- ・編集側は原稿の形式揃え，原稿調整・修正の原案作成
- ・他の分担者は，（共通ファイルにあげてある）原稿全体を読み，修正，加筆すべき点をまとめる

## ●作成過程 5

---

○1月17日H17第3回情報リテラシー委員会  
(テキスト作成班)にて **【資料8】「原稿  
の追加・修正の要点」**を踏まえた上で各自問  
題点を出し合う。結果は **【資料9】**

- ・テキスト配布の目標がH18年度教養ゼミ  
「図書館利用案内」(4/17開始)で、4/12納  
品には**2/24**までに入稿の必要

## ●作成過程 6

---

○1月中旬頃，H部長よりの指摘・助言

- ①文章が相対的に多い。図版等を多くして，利用者に親しみ易いものに工夫した方が良い
- ②演習問題をつけること
- ③電子ジャーナルについて加筆すること。初心者向ではあるが，利用案内にとどまらず，次のステップへの足がかりになるようなレベルとする
- ④東北大学他のテキストをもっと参考にする

## ●作成過程 7

---

○1月17日～2月20日頃（？）

- ・原稿内容を図版等を多用して、読み易い形に全面修正 例：89 p. 104 p.
- ・演習問題・回答例を作成
- ・内容的には大幅変更なしとみて、最終索引作成

○2月23日頃，H部長，K課長より，まだビジュアルでない，学生が読みたい内容でないとの指摘

⇒ **ビジュアル化の努力**

- ・この段階で，そのまま印刷に回せる形で入稿すれば，最終期限はいつかを印刷会社に再度確認

⇒ **3月9日デッドライン**

## ●作成過程 8

---

○2月23日～3月9日

- ・各章にロゴ作成、目次と対応させる
- ・第1章の前に「目的別本書の利用ガイド」を新たに加える
- ・12 p.2.7検索上のテクニック等々新たな項目加える
- ・コラム、語の説明などカラーに

○3月9日入稿完了

最終スケジュール：3/16初校、3/27二校、4/12納品



## ●著作権に関する配慮

---

- 当初作成原稿に、直接の引用はなかった  
ので著作権の問題はなしと判断  
→ 文書・口頭での許可は一切取らず
- 作成過程 6 以降 図の利用など、東北大学等のテキストを多く参考



「あとがき」で謝辞

## ●タイトル

---

「広島大学生のための情報活用ガイドブック 基礎編」(仮称)

(「情報をゲット！」)

(「広島大学生のための情報の探し方」)等々

「広島大学生のための情報アクセスガイド 2006」

4月4,5日印刷直前に変更



現在の名称

## ●表紙デザイン

---

- ・印刷業者に依頼、現行の進行状態とは別に、幾つものデザイン案をだしてもらい、職員、学生などに意見を聞く → 意見が分かれる
- ・結果、25通り以上のデザインを検討。  
決め手がないままに、無難な線で決定

## ●印刷仕様書

---

- ・印刷部数：6,000部

PDFファイルでの納品含む

- ・印刷頁数：196頁

- ・版型：A5版

- ・校正：2回以上

- ・納期：4月12日

## ●配布

---

- H18教養ゼミ「図書館利用案内」にて新入生に配布
- 定期講習会にて参加者に配布
- 希望者に配布
- 全国国立大学に送付
- 広島大学図書館HP 「図書館活動成果」にアップ
- 第54回中四国地区大学図書館協議会総会にて配布
- 第33回国立大学図書館協議会中四国地区協議会総会にて配布

## ●利用

---

### ○教養ゼミ「図書館利用案内」

- 講義の際、スライドショーの前に「これはテキスト〇〇頁の内容」と説明
- テキストの利用の仕方について、「目的別本書の利用ガイド」のチャートを使って説明
- 「第9章 情報活用実践」の内容を簡単に説明

## ● 広報

---

- ・ 広島大学広報誌 HU-style 2006.7  
Hi! Hirodai Information 【資料10】
- ・ 広島大学図書館報 「リエゾン」 Vol.31  
2006 【資料11】

## ●発行後の(+)評価

---

- 教養ゼミの引率教員より好意的な評価。参加学生の居眠り率は前年より圧倒的に減少
- テキスト作成の意欲・努力に評価（学外）
- ビジュアルで分かり易い（学外、教員、職員）
- 教員にも役立つ内容（教員）
- 職員研修に役立てたい（公共図書館）



## ●発行後の(一)評価

---

- 演習問題が学生の身近な例でない（職員）
- レファレンス、電子ジャーナルなどの統計は不要（教員）
- 表紙が月並み（職員）
- A4版の方が良い（教員）

## ● 発行者としての反省

---

- ・ 現在、発見済み誤字、誤り等2箇所
- ・ 印刷体裁など、もっと詳細を事前に決めておくべき
- ・ 今回は修正に労力がかかり過ぎたので、事前に、原稿の書き方、分量、図・表の割合などを決めておいた方が良かった

## ● 今後の課題

---

- ・H18,H19年度教養ゼミ「図書館利用案内」、各種講習会にて利用予定 ---- 講義形態をいかにするか
- ・H20には改訂必要か？
  - ・第1～9章 リンク・リゾルバー等の導入により、情報検索方法にも変化
  - ・第10章以降の内容で、利用手続き等変更がある可能性
- ・電子ジャーナルの利用については、もっと詳細に書く必要

ご清聴有難うございました



## ◆ お願いします

---

- 本書へのご意見をお寄せ下さい。
- 内容の誤り、誤植などをお知らせ下さい。

連絡先: 広島大学図書館

情報ナビゲーション主担当

TEL:082-424-5631

**\* お教え下さった方には、広島大学図書館作成の奈良絵本クリアファイルを進呈致します**